

# 北海道における 新型コロナウイルス感染症への 対応に関する検証について

---

～新たな感染症危機への備えに向けて～

(案)

# 新たな感染症危機への備えに向けて

## 考え方

- 新型コロナウイルス感染症への対応は、これまで節目節目において、一連の取組について振り返りを行い、有識者の方々等のご意見を踏まえた上で、その後の対策に活かしてきた。
- 令和5年5月8日に感染症法上の位置づけが5類に変更され、この感染症への対応は大きく変化した。これまでの経験を活かし、新たな感染症危機へ備えていくことが重要となる。
- このため、ウイルスの特性や変異の状況に合わせて3つの時期に区分し、保健医療や社会経済活動、行政の対応等の大きく3つの分野において、総合的な検証を行い、課題や対応方向などを整理した上で、新たな感染症危機への備えの検討に反映していく。

## 検証のフレーム

～3つの時期×3分野で、総合的な検証を実施～

### 1 ウイルスの特性や変異の状況に合わせた3つの時期に区分

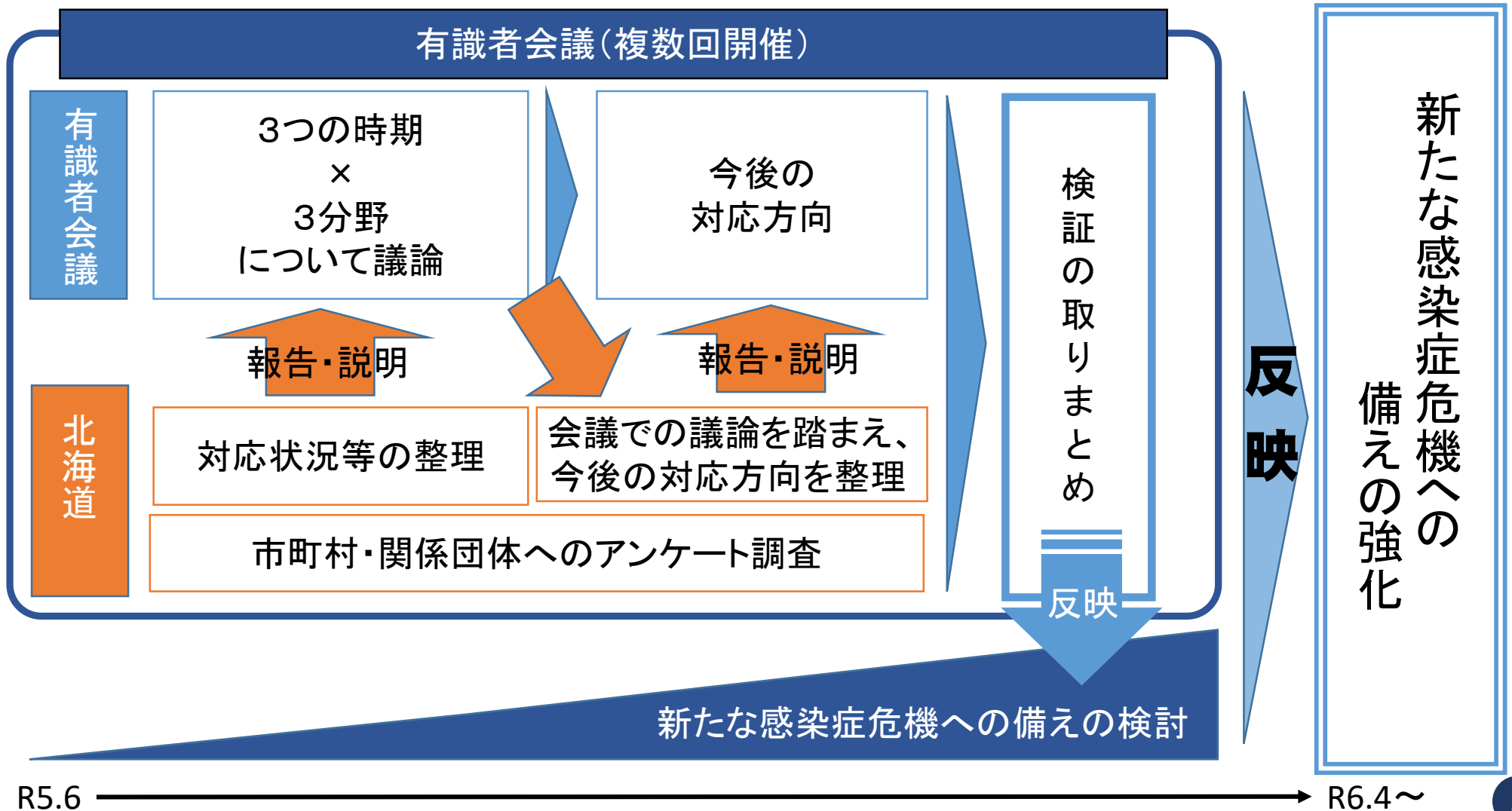
- I 期 毒性、感染力等の特性が明らかでなかった時期から特性や感染が起きやすい状況についての知見が深まり、地域・業種を絞った対策を講じた時期（R2.1～R3.3頃）
- II 期 アルファ株からデルタ株の変異株に対応した時期（R3.3～R4.1頃）
- III 期 オミクロン株に対応した時期（R4.1～）

### 2 保健医療、社会経済活動、行政の対応の3分野でそれぞれ論点を設定

- 分野1 保健医療
  - ①入院 ②外来 ③検査 ④相談・療養(宿泊、自宅、施設内等)
  - ⑤保健所体制 ⑥ワクチン接種
- 分野2 社会経済活動
  - ①道民・事業者への要請 ②需要喚起策等 ③学校教育活動
- 分野3 行政の対応等
  - ①道の体制 ②人材確保・育成 ③国への対応

# 検証の進め方①

- 有識者や専門家の皆様のご意見を伺うほか、連携・協力の下、ともに感染症への対応を進めてきた市町村・関係団体へのアンケート調査を行うなど、幅広い方々にご意見をいただきながら、検証を実施



# 検証の進め方②

- 市町村・関係団体へのアンケート調査を実施
- 前回「検証中間取りまとめ（R2.9）」では、全179市町村に加え、7分野53団体にアンケート調査を実施
- 今回においても検証結果の取りまとめに反映させるため、同様の調査を実施

## 【参考：前回調査概要】

### <対象>

- 179市町村
- 53関係団体（経済、労働、医療・福祉、文化・スポーツ、教育・生活、交通・物流、一次産業）

### <実施期間>

- 7月29日（水）～8月11日（火）

### <調査項目>

- I 第1波への対応について
  - (i) 道独自の緊急事態宣言
  - (ii) 学校の一斉休業要請
- II 第2波への対応について
  - (i) 北海道・札幌市の緊急共同宣言
  - (ii) 特措法に基づく北海道における緊急事態措置
- III 医療提供体制等における連携について
- IV 緊急対策について
  - (i) 保健・医療・福祉分野に係る対応の評価
  - (ii) 経済・雇用分野に係る対応の評価
  - (iii) 教育・生活分野に係る対応の評価
  - (iv) 新北海道スタイルの実践
- V 全般